



## 児童の命を守る！ 交通教室・自転車教室

令和7年4月22日（火）に、交通指導員の大山さん、田原さん、石川さん、地域学校安全指導員の丸目さん、町総務課の養田さん、森さん、合計6人の御協力をいただき、交通教室を実施しました。初めに、交通指導員の方々から指導をいただき、登校班ごとに横断歩道の渡り方等を体験しました。「安全確認。右を見て、左を見て、もう一度右を見て、渡れ。」班長の掛け声が響き、日ごろの様子を想像することができました。

その後、1・2年生は、実際の道路で渡り方を学習し、安全に関するDVDを視聴しました。3～6年生は、自分の自転車に乗って乗り方、止まり方等を学習しました。運転技術向上が目的ではなく、自分の自転車を使って安全意識を高めることを目的としたため、友だちの自転車を借りて乗ることはしませんでした。自転車を押しながら歩くのは、たいへんだったと思いますが、安全意識を高めるために必要だと考えて、実施しました。御理解、御協力ありがとうございました。



## 児童の命を守る！ 避難訓練

熊本地震から9年が経ちました。前震、本震があった4月は「くまもと防災月間」として、須恵小でも避難訓練（地震対応）を実施しました。本当の地震が起こったつもりで訓練に参加した人？と質問しましたが、多くの児童が「はい。」とこたえました。児童の命はもちろん、職員の命も守る、と強く願った訓練になりました。



今後も、地震、水害、火事不審者等の訓練を、計画・実践していきます。

## 児童の命を守る！ 防災講話

決してあってはいけませんが「喉元過ぎれば熱さ忘れる。」令和2年7月豪雨から時間が経ち、復興復旧が進んでいるとはいえ、災害の教訓を次世代に伝えることを目的に、災害を経験した星原教諭が、児童に防災講話をしました。1年生から6年生まで児童はもちろん、職員も真剣に聞いていました。

最後に「体力をつけること」「思いやりの心をもつこと」が伝えられました。つらい経験を伝えていただいた星原教諭に感謝です。



## 児童の命を守る！ 思いやりの心の育成

「児童の命を守る！」最後は、思いやりの心の育成です。「えっ。」と感じられる方がおられるかもしれません。いじめ、不登校、児童虐待等、日本全体で課題となっている事案をなくすためには、道徳教育をはじめ、思いやりの心の育成を中心とした、情操教育の充実がたいせつです。思いやりの心をもった児童の育成には、思いやりの心をもった職員でなければならないと考えます。思いやりの心の育成は、児童一人ひとりをたいせつにすることにつながり、児童の命を守ることに繋がると考えます。

今年度の須恵小学校の学校教育目標は

「心やさしく、気づく・考える・行動する 児童の育成」です。

ちょっと一言  
「自助、共助、公助」。防災のキーワードです。児童だけでなく、社会で高めたい意識です。わたしも「何ができるだろう。」と考えられる人になりたいです。